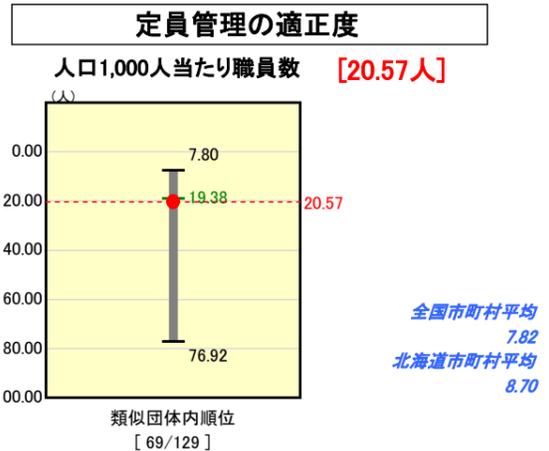
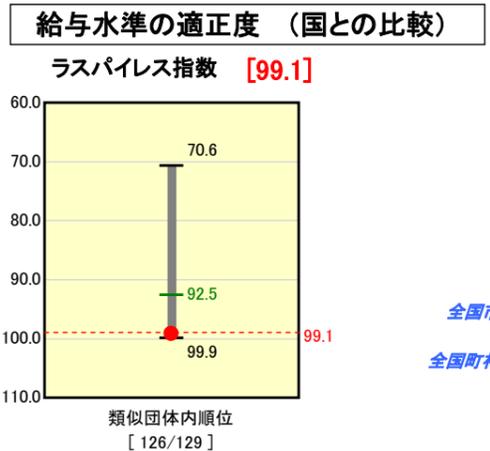
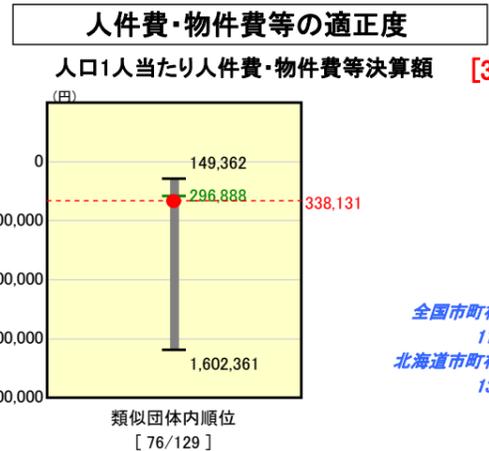
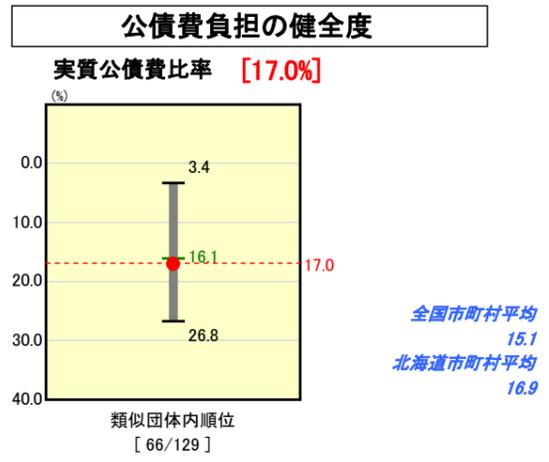
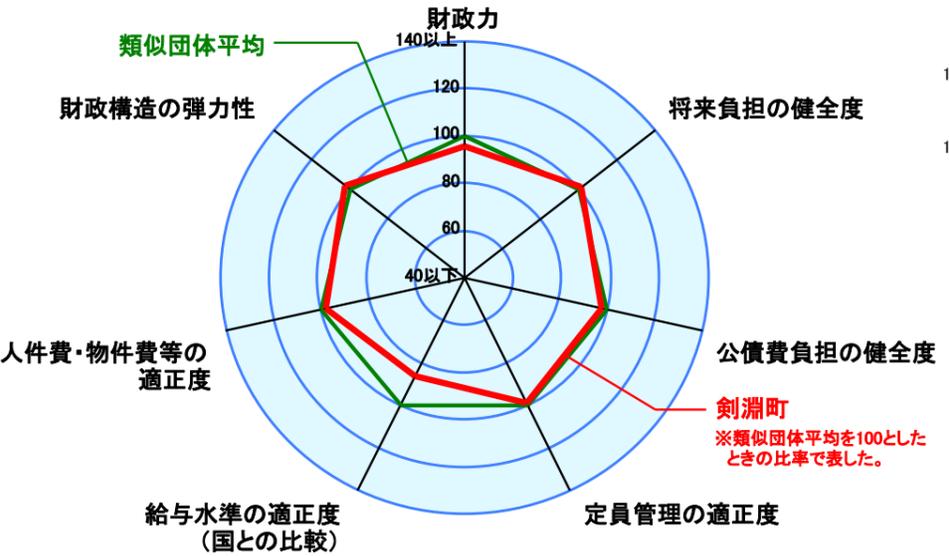
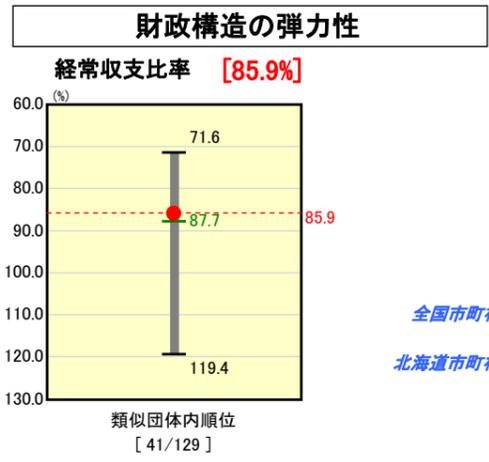
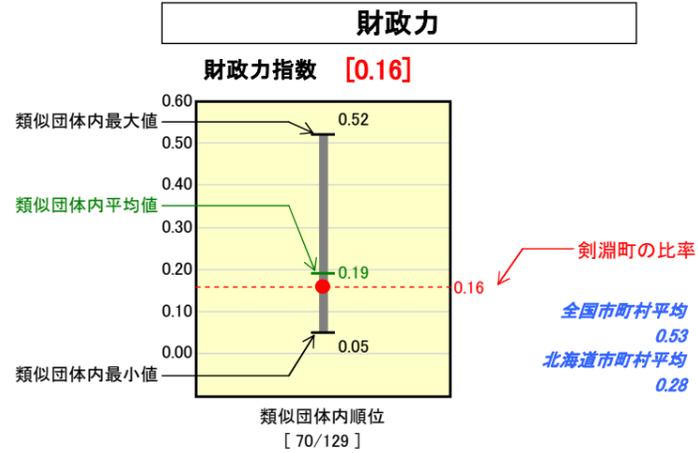


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 北海道 剣淵町

人口	3,840 人(H19.3.31現在)
面積	131.20 km <sup>2</sup>
歳入総額	3,855,771 千円
歳出総額	3,748,217 千円
実質収支	107,164 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数:** 人口減少に加え高齢化(H19年3月末32%)が進み、農業以外の主だった産業は少なく財政基盤は脆弱である。農業が基幹産業であり、農産物の価格低迷等により所得が伸びず、このことは商業の販売高にも影響を及ぼしており、税収が伸びない要因である。また医療費等の福祉関係経費の増加も町財政に影響を与えている。今後においても行革(集中改革プラン)を進め、歳出削減に努めていく。

**経常収支比率:** 公債費の償還ピークを超え減少傾向にあることと、平成12年度以降、退職者の不補充による人件費の削減により、類似団体より若干下回っている。今後においても人件費を抑えるとともに、平成19年度から使用料・手数料、補助金等についても見直しを行っている。

**人口1人当たり人件費・物件費等:** 類似団体より上回っているのは、農業高等学校を町立で運営しているため、教員等の人員費及び物件費等がその要因となっている。また、既存施設の老朽化により維持補修等に係る費用も増加している。今後においても人件費、物件費のコスト低減に努める。

**ラスパイレース指数:** 100以下ではあるが、全国町村平均(93.9)を上回っている。要因として職員の不採用により若い職員が少なく、経験年数の多い職員の比重が高くなっていることがあげられる。国の給与構造改革に準じた見直しを行って削減努力を図る。

**人口1人当たり地方債現在高:** 類似団体より若干上回っており、健康センターの建設(H9)や剣淵温泉宿泊施設建設(H5・6)など、大型の事業展開により起債の借入額が増大した。19年度にはこれらの償還が完了するものもあり、地方債残高は下降に向かう。今後も新規発行債の抑制を行い、財政の健全化に努める。

**実質公債費比率:** 普通建設事業費に係る起債の償還等に併い類似団体を若干上回っているが、事業の選択、縮減を図りながら起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

**人口1人当たり職員数:** 類似団体より人員が多いのは、農業高等学校を町立で運営しているため教員等が増要因になっている。平成12年度からの退職者の不補充により職員数の削減に努めている。今後も適切な定員管理に努める。